

様式第1号（第7条関係）

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和2年12月19日

和泉市長 あて

団体名 はつが野街づくり推進委員会

代表者名 森 茂樹

所在地

電話番号

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	はつが野祭り
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	_____ 2,000,000円 (うち、対象経費 _____ 1,650,000円)
支援金 交付申請額	_____ 800,000円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(はい)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第2号（第7条関係）

団体概要調書

フリガナ	ハツガノマチヅクリスイシンインカイ		
団体名	はつが野街づくり推進委員会		
団体の目的	はつが野自治会、はつが野三丁目自治会、はつが野松風台自治会からなるはつが野街づくり推進委員会が主催する はつが野祭りを通して地域住民の親睦を深め、世代間交流を推進する。		
市内事務所の所在地			
	電 話		F A X
フリガナ	モリ シゲキ		
代表者氏名	森 茂樹		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名)※		電 話
	ヤマワシ マサハル		
	山鷲 正治		F A X
設 立 年 月	2012年4月	主な活動地域	はつが野一・二・三丁目
会報等の発行	無	会員数	1,250人
メールアドレス			
ホームページ	http://www.hatsugano-jichikai.com		
主な事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 はつが野街づくりに関する検討、協議を行う。 2 はつが野祭りの実施 3 その他この会の目的達成のために必要な活動 		
主な活動の実績	<p>○ はつが野祭りの実施</p> <p>(1) H28, 11, 06 青葉はつが野小学校 参加者 約4,000人</p> <p>(2) H29, 10, 29 青葉はつが野小学校 参加者 約2,500人</p> <p>(3) H30, 11, 29 青葉はつが野小学校 参加者 約4,000人</p>		
国・府・市及び 各種団体等から 他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	H30	ちよいず	776,680
	R1		736,773
	R2		750,705

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	はつが野祭り
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
<p>① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 はつが野地区は、URの開発から間もなく20年を迎える歴史の浅い住宅街であり、現在も開発が続き新しい住宅がどんどん建っており、人口も増加しています。 新しく入居されるほとんどの方は若くて小さな子供がいる家庭が多く、親は職場の同僚との交際が中心となり、近隣での交際範囲は狭く、浅く、遠慮がちで、地域住民としての連帯感が非常に希薄です。 子どもは、近くの限られたごく少数の者としか遊ばず、多数の友達と遊ぶ機会がないので、他人に対する思いやりの心、譲り合いの心、助け合いの心、連帯感等が育みません。また、世代間においても、隣の子どもの顔、近所のおっちゃん、おばちゃんの顔すら分からず、言葉をかけ合うことはほとんどないのが現状です。</p> <p>② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 「はつが野祭り」を実施することにより、親同士が同地域住民として、もっと近隣者と親睦を図り親交を深めて、お互いに、困ったときには助け合い、喜びも悲しみも共に分かち合える連帯感の強い活気ある街をつくりたいと思います。 さらに、世代間においても、子どもたちが安全・健全な環境の中で、すくすくと育つように、大人と子供の交流を図り、地域の子どもは地域で育てるという連帯感を醸成させることができます。 「はつが野祭り」を実施することにより、大人、こども共に、顔見知りを増やし仲良く楽しく遊ぶことができ、仲間を愛し、地域を愛し、情操豊かな心を育む場を提供できる。そのことを通じてやがて子供が成長した暁には、はつが野が自分の「ふるさと」として、いつまでも心に残る良い思い出づくりをして買いたいと考えます。</p>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
<p>① 問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。</p> <p>(1) 地域周辺の学校、団体、サークル等によるアトラクション 南池田中学校生徒吹奏楽部演奏、幼稚園児ちびっこ鼓笛隊、フラダンス、こどもジャズダンス、パレー発表等</p> <p>(2) 自治会員によるゲームブース 金魚すくい、くじ引き、ミニグランドゴルフ、あめちゃんすくい、スピードガン、囲碁将棋等</p> <p>(3) 地域内の飲食業者による飲食ブース（原価販売） からあげ、やきそば、クレープ、ポップコーン等</p> <p>以上のイベント等を行い、たくさんの方が楽しめるはつが野祭りを開催する。</p>	
② 実施期間（日時）	令和3年10月31日（日）午前9時～午後3時
③ 実施場所	青葉はつが野小学校 グラウンド

④ 主な対象者	青葉はつが野地区のすべての住民
⑤ 参加予定者数	3,000人
⑥ 告知方法	はつが野1丁目、2丁目、3丁目の全戸に開催案内チラシを配布
5 事業スケジュール	
次期(月)	内容
5月	イベントのテーマ、日時、場所、スケジュールの協議
6月	演目、出演候補の選定、各ブロックブースの出し物の協議
7月	舞台および音響設備、ブース経費、収支検討
8月	運営計画書の提出、タイムテーブル、会場レイアウト、案内書の協議
9月	事前準備と進行、作業分担の協議
10月	案内パンフレット作成、地域住民への告知 はつが野祭りの開催
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
① 公益性	地域住民同士の関係が希薄になっている今、祭りを開催することにより、大人子ども問わず世代間の交流をすることができ、地域のコミュニティの輪が広がっていく。いざというときに助け合える関係の構築や連帯感の強化に繋がり、活気のある街へとなっていく。毎年、たくさんの方に参加していただき、満足の声をいただいている。
② 継続性	2010年から「はつが野祭り」を毎年開催してきており 地域の秋のイベントとして定着している。2020年度はコロナウイルスの影響で、祭りを中止にしたが2021年以降も継続して開催していく方針です。 本事業を通して、近隣者と親睦を図り親交を深めることで、困ったときには助け合い、喜びも悲しみも共に分かち合える連帯感の強い活気ある街づくりに繋がっていくと考えており、本事業の成果は広く波及していく。また、本事業を行うことで、祭りに参加した子どもたちが大人になったとき、子どもの時の体験を思い出し、地域のボランティアに育ってもらうことにも波及すると考えています。 ゲームブースでの売上、近隣の店舗や企業等からの協賛金、自治会からの支出金等、補助金以外でも財源は確保されています。
③ 実行性	はつが野自治会、はつが野三丁目自治会、はつが野松風台自治会からなる「はつが野街づくり推進委員会」が企画、準備、運営を行う。ノウハウが蓄積されており、継続して開催していくことで若い世代にも引き継がれていく。
④ 協働性	大人、子ども共に、顔見知りを増やし交流することができる。世代を超えた交流をすることができる。 はつが野自治会、はつが野三丁目自治会、はつが野松風台自治会からなる「はつが野街づくり推進委員会」にそれぞれの自治会の役員が所属し、意見交換、祭りの運営などを通して、交流を図ることができる。異なる自治会であっても一つの目標に向かってお互いに切磋琢磨して成し遂げることができる。 また、地域周辺の学校、団体、サークル、飲食業者とも協力して、祭りを盛り上げる。
⑤ 公開性	自治会員だけでなく、地域の全ての人たちに参加していただけるように、チラシの配布を行い、たくさんの人に楽しんでいただける環境を整えている。

◎発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	2017年、2018年、2019年は、それぞれ3,000人を超す観客を集めることができました。今後は祭りの「ゲーム」「飲食」「ステージでの演技」だけでなく、未来の地域の防災などにも取り組んでいく予定です。
--------------------------------	--

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第7条・第15条関係）

収支予算書

事業の名称： はつが野祭り

1. 【収入】 (単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	800,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	400,000	各ゲームブースでの売上金
自主財源	400,000	各自治会支出金（はつが野、はつが野3丁目、はつが野松風台）
協賛金	400,000	近隣の商店、企業、医療施設等
合計	2,000,000	

2. 【支出】 (単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
委託料	310,000	舞台音響設備費
報償費	10,000	演目出演者謝礼
消耗品費	360,000	各ゲームブース材料代、ネームホルダー等
印刷製本費	60,000	開催案内、パンフレット等の印刷
賃借料	900,000	レンタカー、テント、机等
役務費	10,000	通信費
対象外経費	350,000	スタッフ昼食代、抽選会賞品代など
合計	2,000,000	
対象経費	1,650,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。